

会計
事務所の
皆さまへ

MJS情報誌



／ お得で役立つ情報をお届け ／

MJS

INFORMATION

Vol.
13

会計事務所の業務とは？

『5つのAI』で変わる

MJSの

特集

(P1~2)

会計事務所のAI活用

AIに「任せる力」が事務所の未来を変える

- MJSは、『取引データ』も『紙証憑』もどちらも自動化できる仕組みを提供できます。
『取引データ』の場合は、AI仕訳
- 『紙証憑』の場合は、AI-OCR入カスキャンし取り込み、仕訳を自動作成
- AI仕訳やAI-OCR入力で取り込んだ仕訳は、MJS AI監査支援で帳簿チェック
- 顧問先への付加価値の高いサービス提供をAIがサポート！「Hirameki 7」経営分析プラス
- 先生の事務所、セキュリティ対策の状況を教えてください
—その質問、もう“他人事”ではありません。—
- 注目セミナーのご紹介
- 経営ひそひそ話 一個人・組織の競争力を左右する「突破力」とは—

特集

会計事務所のAI活用

AIに「任せる力」が事務所の未来を変える

■ 生成AIの登場で“会計事務所の仕事”はどう変わる？

AIは以前から会計業務に使われてきましたが、その多くは「正解のある作業」を高速処理するものでした。通帳や領収書の読み取り、仕訳の自動化、残高照合など、ルールに基づく処理が中心です。

一方、ChatGPTやMicrosoft Copilotに代表される生成AIは「正解が一つに定まらない仕事」を担える点が大きな特徴です。論文を要約したり、文章の生成であれば語り方を変えたり…。

こうした“思考”を含む作業をAIに任せられるようになったことで、会計事務所でのAI活用は新しい段階に入りました。

文章作成・要約・比較・まとめといった、時間を奪われがちな業務はAIによって大幅に効率化できます。

職員が「時間をかければできるが、本音では負担に感じている業務」をAIに任せる環境が整い始めているのです。



■ 事務所内で進む“AIによる実務の効率化”

近年、会計事務所の業務にはさまざまなAI技術が取り入れられ、単なる便利ツールではなく、“日常業務を支える基盤”として存在感を増しています。たとえば、

通帳・領収書・レシートなど
証憑画像を読み取り自動仕訳処理

銀行取引やクレジットカードのデータを
連携させて自動仕訳処理

残高確認や重複・不整合の検出など、
チェック作業の自動化

操作方法やよくある質問へ即時回答する
対話型サポート

上記のように、すでにAIが人の作業を補助し、大幅な効率化が進んでいます。これらの技術によって、時間を取られがちな“作業工程”が軽くなるため、時間や労力を節約することができます。さらに最近では、顧問先向け経営レポートなどの資料をAIが自動生成する仕組みも登場しています。数値に応じたグラフ作成や指標の算出、状況に合わせたコメントのたたき台作成などもAIが行い、人は修正や補足に集中できます。シンプルに言えば、AIは“ゼロから作る”ための時間を減らし、人が最後に判断・仕上げを行う仕事にリソースを割けるようにする技術へと進化してきたと言えます。

■ 信頼できるAIをどう作るか— これからの会計事務所の役割

会計事務所がAI活用に踏み切るうえで最も大きな不安は、「AIの答えをどこまで信用してよいのか」という点です。Microsoft Copilotのエージェント機能では、AIに参照してよい情報を「事務所が指定した範囲」に限定できます。たとえば、

国税庁の文書回答事例

タックスアンサー

公式Q&A

など、一次情報のみを参照させることで、信頼性の高い回答を得ることが可能になります。“Web検索の回答をそのまま信じる”のではなく、「事務所が信頼する情報だけをAIに読ませる」という発想が、AI時代のリスク管理として重要になります。

AIが事務所の業務を代替するのではなく、『単純作業をAIに任せる』『顧問先の理解・提案・判断など“人でしかできない領域”に集中する』という分業が進むことで、事務所の価値はむしろ向上していくと言えるでしょう。

■ AIを使いこなす事務所が選ばれる！

AI活用の本質は“効率化”ではなく、職員の力を最大化するための仕組みづくりにあります。

業務のどこをAIに任せ、どこを人が担うのか。この設計を進めることが、これからの会計事務所にとって重要な経営判断となります。まずは、AIに“小さなたたき台づくり”を任せるところから始めてみてはいかがでしょうか。AIを味方につけることが、「選ばれる会計事務所」への第一歩となるはずですよ。

●本コラムは、以下の資料を参考にしています。

情報ネットワーク委員会
「事務所にAIはあるかあ？
～生成AIとの付き合い方を考える90分～」
第一分科会ガイド

本編はこちら



<https://x.gd/hCIZK>



会計事務所にとって、今後はAIをいかに活用していくかがますます重要なテーマとなっています。しかし一方で、業務におけるAIの本格的な活用に不安を抱えている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。たとえば「新たな知識の習得が大変そう」「設定が難しそう」など、導入時のハードルを心配される声もよく伺います。MJSには、会計事務所のAI活用を力強く支援する『5つのAI』が標準搭載されています。これらはすべてシステムにあらかじめ実装されている実装型AIのため、特別な設定や専門知識がなくても、すぐにそのままお使いいただける点が大きな特徴です。

会計事務所のAI活用を支援する！

実装型

MJSの「5つのAI」



MJSのAIは、「勉強をして使いこなす」というよりも、普段の業務の中で自然に活用できるように組み込まれているAIであり、導入したその日から実務に役立てられる設計になっています。次ページ以降でこの5つのAIについてご紹介しているので、ぜひ会計事務所のAI活用にご参考ください。

P3 会計事務所内部の業務効率化

AI仕訳

取引データの連携で
記帳業務を効率化！

P4 会計事務所内部の業務効率化

AI-OCR入力

証憑画像の読み取りで
記帳業務を効率化！

P5 対顧問先業務の業務効率化

MJS AI監査支援

仕訳・帳簿のチェックが
効率化！

P6 対顧問先業務の業務効率化

Hirameki 7 経営分析
プラス

顧問先向け

経営支援業務が
効率化&サービス価値の向上に

裏面 会計事務所業務のサポート

MJS AIアシスト

操作の疑問・問題解決を
円滑化！

MJSは、『取引データ』も『紙証憑』もどちらも自動化できる 仕組みを提供できます。「取引データ」の場合はAI仕訳

会計事務所内部の業務効率化

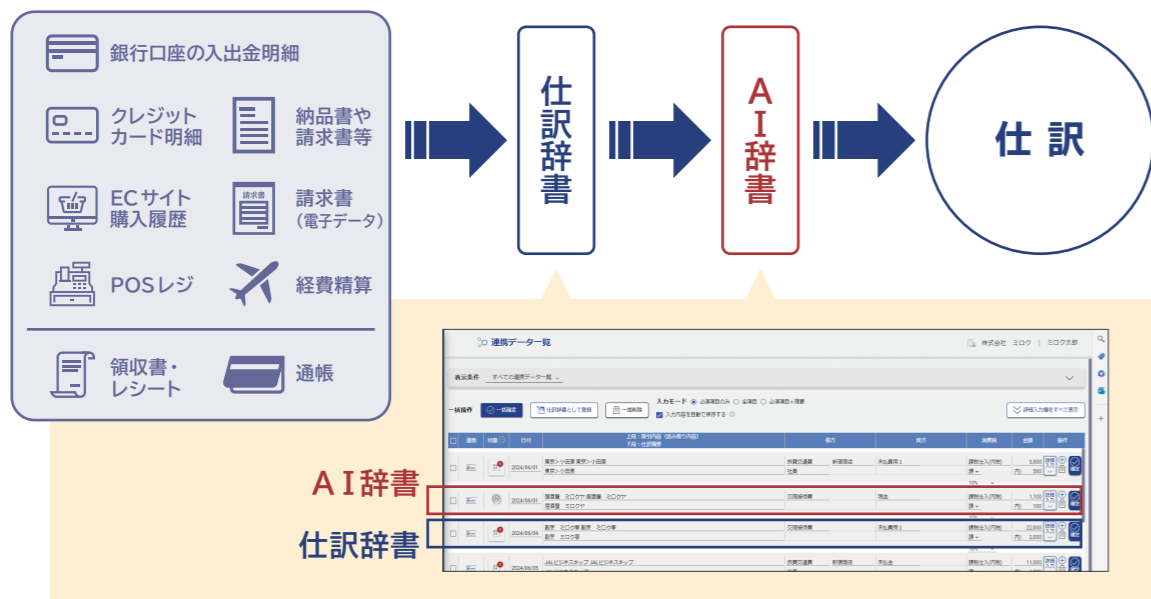
MJSは、「取引データ」も「紙証憑」もどちらも自動化できる仕組みを提供できます。

「取引データ」の場合は、AI仕訳

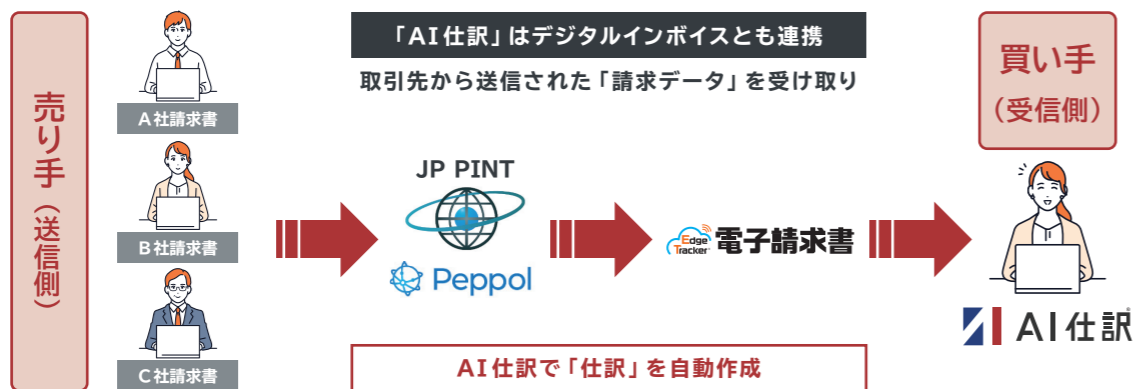


取引データを取り込み、仕訳を自動作成

AI仕訳とは、銀行口座やクレジットカード、請求書サービスやPOSレジなどの取引データを自動取得してユーザーが設定した条件に従って仕訳を自動作成する、ACELINK NX-Proのシステム



さらに、「AI仕訳」なら、今後普及が見込まれるデジタルインボイスとも連携。AIが自動で仕訳を作成してくれます。



電子帳簿保存法対応が進む中、電子取引データの比率は急増しています。AI仕訳は、こうした取引データの仕訳作成を「入力しない記帳」へと導き、事務所の生産性を大幅に改善します。

月間解析枚数100万件突破!!!
「紙証憑」の場合は、AI-OCR入力

スキャンし取り込み、仕訳を自動作成

AI-OCR入力とは、スキャンしたレシートや通帳、クレジットカード利用明細を取り込み、OCR解析して仕訳を自動作成する、ACELINK NX-Proのシステム

- ① 証憑をスキャンして画像データを取り込み
- ② 解析し、自動仕訳
- ③ 仕訳を補完・訂正し、仕訳取込

証憑を読み取り、仕訳辞書が適用できなかった読取データを前年・当年仕訳からAI類推機能により仕訳をセットします

AI-OCR入力の利用は、通帳の読み取りが最もおすすめです!

料金は従量課金 **1ページ10円×枚数** 使った分だけだからはじめやすく無駄がありません。

手入力の場合	AI-OCR入力の場合
通帳1ページあたり8分	通帳1ページあたり40秒
通帳:1ページ24行	スキャン:15秒
仕訳入力:1仕訳20秒	解析:10秒
(24行×20秒=480秒)	仕訳確認:15秒

92%減

コストは1ページ10円×枚数なので時間も費用も見通しやすくなります。

AI-OCR Informationとは
AI-OCR入力を安心してお使いいただくための情報をまとめたサポートサイトです。操作動画やマニュアル、FAQなどをまとめてご覧いただけます。ACELINK NX-Proからアクセスすることもできます。

ミロにゃんアイコンが目印!
<https://x.gd/hNTWq>

紙でもデータでも、どちらもAIで仕訳作成まで自動化できます。記帳代行の入力業務を効率化し、処理の遅延や漏れを防ぎます。

記帳後の顧問先対応もAIで効率化

※ACELINK NX-Pro「AI仕訳」「AI-OCR入力」「Edge Tracker」は、株式会社ミロク情報サービスの登録商標です。

対顧問先業務の効率化

AI仕訳やAI-OCR入力
で取り込んだ仕訳は、**MJS AI監査支援**®で帳簿チェック

複雑化する「帳簿チェック」担当者のスキル差による「ばらつき」が課題になっていませんか？
会計事務所を取り巻く制度や実務は年々細分化・高度化し、手作業でのチェックには見落としや判断の個人差が生まれやすくなっています。

MJSAI 監査支援とは、担当者が入力した、または自動作成した仕訳の処理ミスや処理漏れなどを監査チェックルールに基づいて検出する帳簿チェックシステム

業務量が増えて
チェックの時間が確保できない

紙と電子の両方で領収書を受けとった場合
二重処理してしまうリスクがある

データ連携による
自動仕訳だと目視が減って
誤仕訳起きやすくなる。

担当者ごとに
チェックレベルが違い、
品質にばらつきが出る

システムに帳簿チェックをまかせることで、人的コスト・属人化の解消
従業員のスキルに関係なくスムーズに行えます

【監査の機能】5つの監査機能で帳簿チェックを支援

- 著増減監査
- マイナス残高監査
- 消費税区分監査
- 仕訳明細監査
- 仕訳重複監査

AIがルールに基づき仕訳をチェック



<p>一部掲載</p> <p>標準監査ルール</p> <ul style="list-style-type: none"> 軽減税率取引の確認 課税交際費の確認 課税売上の確認 少額固定資産の確認 など… 	<p>一部掲載</p> <p>インボイス制度対応ルール</p> <ul style="list-style-type: none"> 適格返還請求書の確認 少額な返還インボイスの確認 仕入税額控除の確認 適格請求書発行事業者以外の者からの課税仕入れの確認 など… 	<p>独自ルール</p> <p>事務所の運用に合わせた独自のチェックルールを設定可能。たとえば、標準ルールでは「消耗品費10万円以上」の仕訳を検知しますが、自社としては「9万円以上」からチェック対象にしたといった独自ルールを反映させることができます。</p>
--	---	--

事務所全体で同じ品質の帳簿チェックを実現し、
業務の安定運用につなげましょう。

資料請求はこちら
<https://x.gd/emZRH>



顧問先の経営分析もAIで

※「MJS AI監査支援」は、株式会社ミロク情報サービスの登録商標です。

対顧問先業務の効率化

顧問先への付加価値の高いサービス提供をAIがサポート！

Hirameki 7 経営分析
プラス+

こんなお困りごとはありませんか？

<p>事例1</p> <p>顧問先へのレポート作成に時間がかかる</p>	<p>事例2</p> <p>差別化した報告書を作りたい</p>	<p>事例3</p> <p>将来の話をするための分析ツールが欲しい</p>
---	--	--

そんなお悩みは

Hirameki 7 経営分析プラスで解決しましょう！

Hirameki 7 経営分析プラスはAIが経営レポートを自動生成

事前設定不要&ボタン1つでカンタン出力	会計データと公的統計に基づき生成AIがコメントを自動作成	AIコメントやグラフの色を自由に編集可能	AIによるレポートの読み上げ動画の作成が可能
---------------------	------------------------------	----------------------	------------------------

月次AIレポート※

- 年計グラフで事業の変化に気付ける
- 黒字の目安をひと目で確認



年次AIレポート※

- 最大5期のトレンドを確認
- 営業利益の変動要因を可視化



重要なポイントがひと目で分かる！
変化に気づき対策が打てる！

年次AIレポートと一緒に自動作成！

- レポートの要約を読み上げる約5分間の動画
- キャッシュ・フロー計算書 **NEW**

Hirameki 7のお申し込み・お問い合わせ
30日間の無料トライアルをお試しください！



先生の事務所、セキュリティ対策を教えてくださいーその質問、もう“他人事”ではありません。

※「Hirameki 7」はMJSグループのトライベック株式会社が運営するサービスです。

先生の事務所、セキュリティ対策の状況を教えてください

—その質問、もう“他人事”ではありません。—



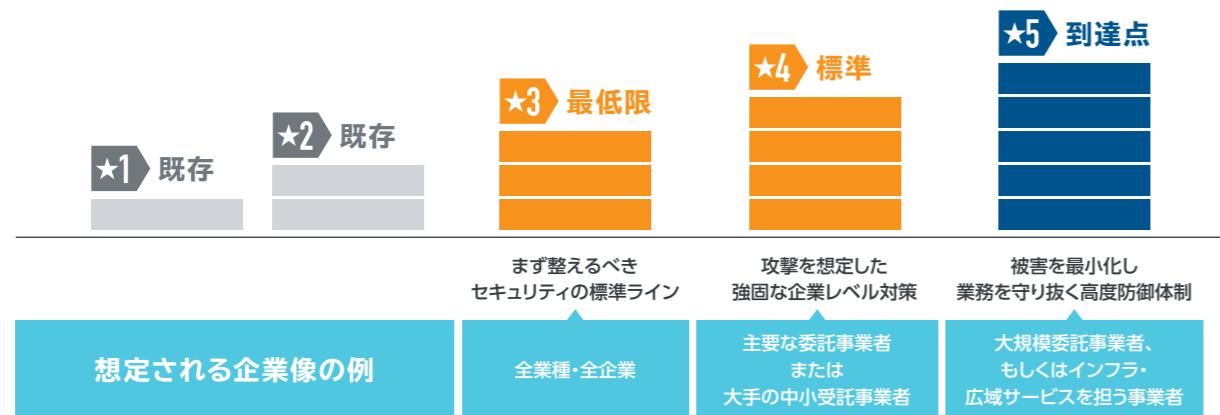
経済産業省が2026年度末施行予定の「サプライチェーンにおけるセキュリティ対策評価制度」(以下、SCS制度)により企業が委託先のセキュリティを確認する時代になります。

- ・顧問先はサプライチェーンの一角
- ・その顧問先は2026年度末から、取引先のセキュリティ確認を求められます
- ・そして確認対象には“会計事務所”も含まれる

つまり…

会計事務所も、無関係ではられません!

評価の概要



本資料に記載の制度の内容は、現時点での案に基づくものであり、今後の正式決定により変更される可能性があります。

顧問先からいつ質問されても、堂々と答えられる事務所へ。



★★★★★5

高度防御体制 ★5の検討は
今後予定

★★★★★4

攻撃を想定した企業レベル対策

★★★★★3

企業としての必須ライン

★★★2

体制づくりの開始

★1

基本行動の習慣化



守る・戻す・支えるを揃えれば、どの段階からでも“説明できる組織”へ進めます。

セキュリティ領域	★3	★4	当社がご提供できるソリューション
ログイン・アクセス管理	○	○	
端末・メール・Webの防御	○	○	eset MJS Webフィルタリング PC PATROL
脆弱性・パッチ管理	○	○	
ネットワーク防御(境界・横移動)	○	○	FortiGate HerGate/Kan Memo
ログ・インシデント対応	—	○	PC PATROL MJS バックアップ ONE
復旧・BCP	○	○	サイバー保険

本資料に記載の制度および対策提案は、現段階の案に基づく参考情報です。今後の正式決定に応じて、対策メニュー・要件は変更となる場合があります。

不足している体制
TOP3

インシデント対応の
体制整備

セキュリティルール化
・教育

バックアップの
未確認・未検証

出典:IPA「2024年度中小企業における情報セキュリティ対策に関する実態調査」報告書より



2026年度末。顧問先が動き出す前に、“選ばれる事務所”になる準備を。

まずは“現在地を知る”ことから
スタートしましょう!

今後は“答えられること”が
信頼維持の条件になります。

注目セミナーのご紹介

※「PCパトロール」「MJS バックアップONE」は、株式会社ミロク情報サービスの商標または登録商標です。
※その他記載されている製品名・会社名は各社の商標または登録商標です。

注目Webセミナーのご紹介

MJSが毎月開催するWebセミナーの中でおすすめの内容をご紹介します

おすすめ
1

2027年1月電子帳簿保存法の新たな改正を紐解く！ いよいよ始まるデジタルインボイスのシステム対応について

開催日 2026年5月19日(火)
14:00~15:00

講師 株式会社ミロク情報サービス
マーケティング・営業推進部
清岡夏美

受講料 無料 定員 100名

2027年の電子帳簿保存法改正に向けて、デジタルインボイスへの備えは早めの検討が重要です。本セミナーでは、制度の概要から日々の経理業務で必要となる対応までをMJSシステムの紹介を交えてわかりやすくご説明します。

お申し込みはこちら



<https://x.gd/N45mPz>

おすすめ
2

義務化から3年！いよいよ限界？～契約書・請求書をどう整理する～ 「置き場所」を変えれば、社内の電子書類の課題が解決！

開催日 2026年5月21日(木)
14:00~15:00

講師 株式会社ミロク情報サービス
マーケティング・営業推進部
粟津裕行

受講料 無料 定員 100名

本セミナーでは、義務化から3年を迎えた電子帳簿保存法のポイントを改めて整理したうえで、契約書・請求書・関連資料を「どこに」「どの単位で」「どう整理すべきか」という実務上の考え方を分かりやすく解説します。制度解説にとどまらず、現場で無理なく続けられる書類管理の設計思想をお伝えすることを重視しています。

お申し込みはこちら



<https://x.gd/4H9jC>

デジタル化・AI導入補助金 2026

「デジタル化・AI導入補助金2026」とは、中小企業・小規模事業者のデジタル化・生産性向上を支援するための国の補助金制度です。

会計、販売、請求管理、人事労務システムなど、
業務効率化のためのシステム導入にご活用いただけます！

MJSが システムの導入 と 補助金の申請 をサポートします。

全国で346,000の事業者が利用しています！お気軽にご相談ください



※「MJS e-ドキュメントCloud」は、株式会社ミロク情報サービスの商標または登録商標です。 ※その他、記載されている会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。

経営ひそひそ話



日々の業務の中でふと感じる「これって、他ではどうしてるの?」という疑問に、ちょっとしたヒントや新しい視点をお届けするコラムです。今回のお話は…

個人・組織の競争力を左右する「突破力」とは

突破力とは、困難や制約、予期せぬ壁に直面した際に、それを主体的に打ち破り前進していく力を指します。これは単なる精神論ではなく、セルフモニタリングやクリティカル・シンキングを通じて状況を冷静に分析し、バイアスを排除しながら最適な行動を選択する能力を含みます。ビジネス環境が複雑化する現代において、突破力は個人や組織の競争力を左右する重要な能力になってきています。突破力を構成する要素は、「知識」「スキル」「マインド」の三つに整理できます。まず、突破のための知識は、状況を理解し判断するための“材料”となります。困難の性質や影響、望ましい結果のイメージ、代替手段や選択肢に関する知識、さらには周辺環境への影響など、状況を立体的に捉えるための情報が必要です。例えば、車の運転中に交差点で対向車が右折してきた場合、衝突を避けるための操作方法や、急ブレーキを踏んだ際の後続車への影響など、複数の知識が瞬時の判断を支えます。



次に、突破するためのスキルとは、情報を捉え、分析し、判断し、行動に移す一連の能力です。知識があっても、バックミラーで後続車を確認するなどの情報収集ができなければ適切な判断はできませんし、判断できても行動に移せなければ突破には至りません。突破力には時間的制約が伴うため、これらのスキルを短時間で発揮することが求められます。そして、突破力の核心となるのがマインドセットです。短い時間で最適な行動を選び、迷わず実行する“思い切り”が必要になります。アスリートが極限状態で反射的に正しい動きをするのは、繰り返しの練習によって「身体が覚えている」状態をつくっているからです。ビジネスの現場でも、経験やシミュレーションを通じて、瞬時の決断を可能にするマインドを育てることが重要になります。

では、この突破力を組織でどのように育てていけばよいのでしょうか。実際のビジネスでは、危機的状況を何度も経験することは難しいため、シミュレーションやケース学習が有効です。トラブル発生時のロールプレイや、過去の成功・失敗事例の分析、「自分ならどうするか」を考える思考訓練など、疑似体験を積むことで知識・スキル・マインドを同時に鍛えることができます。また、突破力は属人的になりやすいため、組織として成功事例や思考プロセスを共有する仕組みを整えることが重要です。突破に至った背景や判断の根拠を言語化し、組織全体で経験を共有することで、個人の経験値を組織の資産へと転換できます。さらに、突破力を発揮するためには心理的安全性も欠かせません。失敗を恐れる環境では思い切った行動は生まれません。挑戦を評価し、失敗を責めない文化をつくることで、突破に必要なマインドが育ちやすくなります。

最後に、個人のセルフモニタリング能力を高めることも突破力の育成に直結します。自分の思考の癖やバイアスを理解し、感情に流されずに状況を捉える力は、クリティカル・シンキングやメタ認知のトレーニングによって強化できます。



突破力は「知識」「スキル」「マインド」の三つが揃って初めて発揮されます。そして、これらは偶然身につくものではなく、組織として意図的に育成する必要があります。知識を与え、スキルを鍛え、マインドを育て、経験を共有し、心理的安全性を確保する。この一連の取り組みを組織文化として根付かせることで、突破力のある人材が育ち、組織全体のレジリエンスが高まっていきます。

【寄稿】浅井 治(税経システム研究所客員研究員)

会計事務所業務のサポート

累計利用件数14万件※突破!



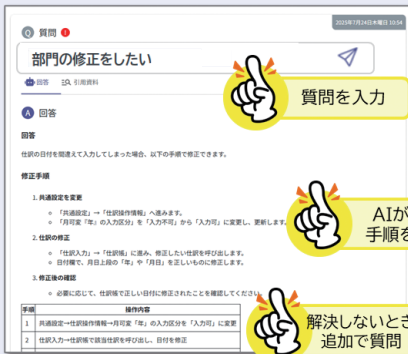
MJS AIアシスト

MJS AIアシストとは?

「MJS AIアシスト」とは、生成AIを活用したお問い合わせ対応サービスです。製品の操作についてのお困りごとをチャット形式で質問するとAIが解決方法をすぐに答えてくれます。「MJS AIアシスト」は無料でお使いいただけます。

こんな風にお使いください!

「部門の修正をしたい」「補助科目を追加したい」など、システムの操作について分からない事をチャットで質問すると、AIが操作手順などの回答を示してくれます。



質問を入力

AIが修正手順を回答

解決しないときは追加で質問!



マニュアルや過去の問い合わせを参照してAIが具体的な手順を提示

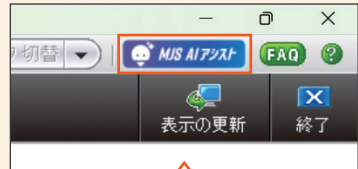
使い方について動画を公開中! ぜひご資料ください



<https://x.gd/tAnHM>

おかげさまで累計利用枚数14万枚達成!

「MJS AIアシスト」ならチャット形式で質問を入力するだけで、24時間いつでもAIが製品に関する疑問を解決してくれます!
2025年7月のリリース以降、累計利用件数が**14万件**※を突破!
利用満足度上昇中!
多くのお客様にご評価いただいています。
これからさらにお問い合わせが増える忙しい時期、ぜひMJS AIアシストを活用して、業務のスピードアップにお役立てください!



ホーム画面の右上にあるこのボタンが目印です!

※「MJS AIアシスト」は株式会社ミロク情報サービスの商標または登録商標です。

各商品・サービスの資料をご希望の場合は右記の二次元バーコードよりお問い合わせください。



<https://x.gd/B7z94>

●商品については、担当支社へお問い合わせください。
株式会社ミロク情報サービス
 発行元 営業本部 マーケティング・営業推進部
 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル48F
 TEL: 03-5326-0381 FAX: 03-3343-5789